



むらさん

第13号

発行者
山形県立村山産業高等学校
PTA広報委員会

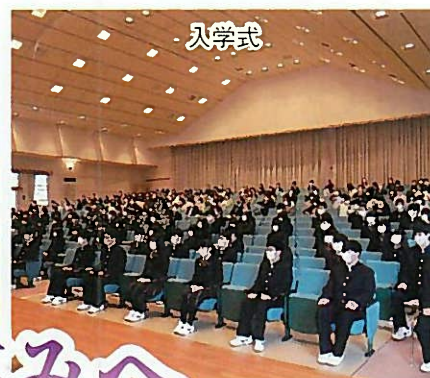
印刷
中央印刷(株)村山支店
TEL 0237(55)3700



新入生宣誓



校舎



入学式



山酒4号田植



山形サンケン様よりマスク贈呈



1年5組授業風景

今こそ更なる高みへ

保護者の皆様におかれましては、日頃より本校のPTA活動に対し、ご理解とご協力とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

昨年末から続く新型コロナウイルス感染拡大では、生徒・保護者の皆様には、多くの不安とご不便をおかけしましたが、ここにきて社会情勢の変化もあり、様々な制約の中ではありますが、少しずつ通常の学校生活に戻りつつあります。

本校も開校から七年目の年を迎え、これまでの取り組み



開校から7年目を迎えて

校長 青柳 晴雄

を検証し、更にこの先を見据えた軌道修正を図る時期と捉えています。大山前校長が「安定飛行を維持しながら更なる高みを目指した挑戦」と例えた通り、生徒諸君と職員が一丸となったチャレンジこそが、生徒ひとり一人がもつ能力を開花させる術と考えます。この実現に向け、PTA活動における保護者の皆様との協働を通し、卒業時には「入学させて良かった」と言っていただけのような学校を目指してまいりますので、何とぞよろしくお願いいたします。



つながりを大切に

PTA会長 布宮 憲哉

日頃よりPTA活動に対し、ご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルスの感染拡大により、全国の学校が一斉に休校となり、一ヶ月以上の遅れが生じ生徒や保護者、先生方々がとても大変な思いをされたかと思えます。その中で大会や試合などが中止となり思うようにできない事も様々あると思います。

村山産業高校の特徴である農業・工業・商業の三学科が一丸となり活動する「花ひかりプロジェクト」などの様々な活動を通して頑張る生徒たちを支えていければと思います。私たち保護者も生徒たちに負けないように、PTA活動を通じて先生方や地域の方々と連携し、つながりを持って共に学ぶことが出来れば、頑張る子ども達を支えていければ幸いです。

今年一年どうぞ宜しくお願い致します。



生徒会長 滝口 智稀

我々、生徒会は、これまで体験したことのない新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、十分な活動が行えないような状況が続いていますが、できる範囲での活動を積極的に行い、学校全体を引っ張っていきたいと思います。

そこで生徒会の活動として、毎週月曜日の朝にあいさつ運動を行うことや、月に一回生徒会と執行委員で挨拶を行うあいさつ強化週間を計画しています。また、今年度最大の行事となるクラスマッチ・村産展を秋に予定しています。こうした新型コロナウイルスの感染拡大による制限を受けた中で、少しでも生徒のみなさんが楽しんでいただけるよう全力で運営に取り組んで参りたいと思います。

そして、この新型コロナウイルスの感染拡大を防ぎ、もとの平和な生活に戻る日が来るよう、全員で協力して乗り越えていきましょう。

生徒会副会長 柴田 梨奈

私が今一番頑張っていることは、朝のあいさつ活動です。去年は活動がなかったのですが、新鮮でとても楽しいです。あいさつは人と人が最初にするコミュニケーションで、第一

印象が決まる大切なものだと私は思います。だから、明るく笑顔で頑張ります。

また、九月に行われるクラスマッチの計画について話し合うために、放課後に集まります。そのときに、スポーツのルールを考えたり、昨年と比較してスケジュールを考えたりしています。これは私にとっても大変なことなので、より集中して話し合いに参加したいと思います。

意見箱の設置など、まだまだ課題はあります。その課題の一つ一つに生徒会の人々で取り組みたいです。そのためには、全員が協力する必要があると思います。協力すること、一人ではできないこともできると思うからです。これからも頑張ります。よろしく願います。

生徒会副会長 板垣 青空

今日は例年とは違い、新型コロナウイルスによって私達学生の楽しみの一つでもある学校行事が次々に無くなってしまうしました。

そこで、私達生徒会として残された数少ない学校行事をいかに円滑に進めることができれば一番の課題として取り組んでいきたいと思っています。その中でも、私は特にコロナの影響が決まる大切なものだと私は思います。だから、明るく笑顔で頑張ります。

ナの影響の省略化により合体することになったクラスマッチと文化祭に力を入れたいと考えています。

その他にも、生徒総会や、壮行式などの報道会館で行われていた行事ができなくなり、放送で進めるなど、今までにない形で行われるようになりました。そういった、慣れない状況でも円滑に行事が進められるよう、日ごろから準備をし、対応していけるよう努めていきたいと思っています。

議長 永岡 優都

今年はコロナの影響によって、昨年まで行っていた学校行事の開催が難しくなったり、生徒総会を放送で行うなどなるべく「密」を避けた行動が取られています。

前期で行うことができた活動はあまり多くありませんでしたが、印象が強いのは、生徒総会です。今回は放送で行ったということで初の試みでした。事前練習はしましたが、本番はトランシーバーとマイクの二つを意識しなければならなかったもので、いつも以上に大変な仕事でした。

この状況が続くのか、議長として何かできることを考えていきたいと思っています。また、感染拡大についても油断は

きないので、できる限りの予防を心がけていきましょう。

副議長 佐藤 幸亮

私が、村山産業高校の生徒会副議長として、皆様の前に立つとなった時に心がけていることは、聞きとりやすさです。特に、ゆつくりとハキハキとして口調で話すようにしています。

先日の生徒総会は、コロナウイルス感染拡大防止のため、放送で行うというものでした。その放送で、私は自分が読むべき所をかんたりに、間違えたり、聞きとりにくい点がいくつもあつたと思います。また私は意外にもあがり性な面があり、あせってしまい文を速く読んでしまいます。

全校生の前に立つ人間として、これではいけない、恥ずかしいと思う、私は自分が丁度良いと思うスピードの二倍おそく読み、腹の底からハキハキ読むようにしました。

このように読んで放送した壮行式では、式終了後、色々な先生方からおほめの言葉を頂きました。

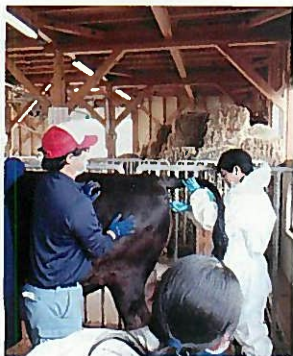
私はこれからも、自分は生徒会という「全校生徒の前に立つ人間」であるということ、を頭に入れ、考えながら活動していきたいと思っています。

農業経営科

農業経営科では農産物の生産と販売、農産加工品の製造・販売を学科の専門学習の柱として実施している。販売実習について、今年度は新型コロナウイルスの感染拡大防止と、生徒の健康保持を第一に考え、従来通りのやり方では実施できない状況にある。

今年度、学科で取り組んでいるプロジェクトとして『花ひかりプロジェクト』の一環として旧村山農業高校で育種された酒米「山酒4号」の栽培、酒粕を活用した各種加工品の開発、粕酢の活用による果実の品質向上などの研究を進めている。また、これまでもテレビ番組等でも紹介されてきた『和牛甲子園』出場への取り組みがある。現在、県やJAの関係各所に協力をいただき、出場牛の肥育に取り組んでいる。

学科長 後藤 肇



農業環境科

農業環境科では、林業や土木、草花やフラワーアレンジメント、造園に関する学習を行っている。特色ある取り組みとして、農林業へのローターの活用がある。これは、地域企業と連携し、演習林内の状況把握や稲作における農薬散布などへ利用する方法について検証している。他にも、日本庭園の施工、フラワーアレンジメントなどの実習でも地域企業の皆さんからご協力を頂き、より実践的な内容を実現している。

学科長 廣瀬 僚太



機械科



過去四年間で機械科職員の異動はなかったが、今年度は二名の教員の退職に伴い、山形工業高校

と寒河江工業高校から新たに二名の経験豊富な先生を迎えることとなった。また、機械科新入生三十一名が入学する準備を整え新年度開始を待っていたが、新型コロナウイルスの影響により授業開始時期が大きく遅れ、授業は六月より本格開始となった。新型コロナウイルスの影響は授業の予定を遅らせた他に、二年生インターンシップ、三年生工場見学、メカトロアイデアコンテスト全国大会の中止をせざるを得ない状況となった。そんな厳しい年度開始ではあったが、三年生課題研究チームによる医療機関へのフェースシールド寄贈は、社会の中での生徒たちの工業教育実践の場となり、多くの方々から感謝の言葉をいただいた。

学科長 伊藤 亨

電子情報科

コロナ禍の影響で、生徒のものづくりの発表の場である「ものづくりコンテスト全国大会」や「ジャパンマイコンカーラリー全国大会」などの全国規模の大会が次々に中止されています。そのような中、予選大会を勝ち抜き、三年海老名俊輔・土屋勇樹の二名が、第五十八回技能五輪全国大会（十一月・愛知県）Webデザイン職種に出場を決めました。本校から三年連続三回目の出場で、更に二名が選出されたのは今回がはじめてです。この全国大会は世界大会につながることから、生徒の活躍に期待が膨らみます。

電子情報科は、AIやIoT技術を基礎とした新しいものづくり活動や、学校で学んだ専門知識を基盤に技能検定・電気工事士などの国家資格にも挑戦していきます。

学科長 庄司 洋一



流通ビジネス科

流通ビジネス科で一年生三十一名が第七期生として入学しました。毎年学科行事として、三年生の生徒が中心となり実施する学科歓迎会で、学科紹介や生徒間の交流を深めていきましたが、新型コロナウイルスの流行に伴い、インターンシップと共に中止となっています。

三年生は進路目標実現に向け、積極的に学習に取り組む、多くの検定試験において一級を取得しました。併せて一年生においても、この九月から実施される様々な検定において目標とする資格取得を目指し、併せて努力することの大切さを学んでいます。二年生は、電子商取引の授業において、校内各教室の「ピクトグラム（二色表現絵文字）」を作成、掲示を行い、好評を得ています。

学科長 伊藤 尚人



自粛期間を終えて

三学年委員長 花井 雄輔

この度の緊急事態宣言のため学校が休校となり、自粛生活が長期間続いた。子ども達も大変なストレスがあったと思う。今は学校が再開され、実体験による学習や対人コミュニケーションの大切さを肌で感じているでしょう。未だ混乱の続く中だが、社会へ出る前の大切な高校生活、親と子しっかり向き合っていきたい。

三年生代表生徒 海老名俊輔

私は、外出自粛中、親と進路についてよく考えられたと思います。学校再開後は、親の意見も参考にしつつ、自分から積極的に希望している進路先について親子で協力し合って考えていきたいと思っています。

一学年委員長 阿部 太彦

新型コロナウイルス禍の時は村産で過ごした経験こそ人生の糧となったと胸張れるよう、休業中、我家の乱川旧堤防に沿う荒れ地を親子で畑にした。息子は学校で磨いた刈払い機の扱い、畝づくりの鍬使いや種蒔きを見せてくれた。手抜きなく丁寧。この十二坪は新鮮野菜の宝庫である。今だからこそ村産の底力に期待する。

一学年保護者 板垣 英希

先の見えない休校が始まり、今まで普通に出来ていたことが出来なくなり、こんな便利な世の中でこんなことが起きるとは……受け入れるのに時間がかかりました。

家庭の中だけでも安心できる空間にし、子どもが学校生活に支障が出ないよう支えていきたいと思っています。

一学年委員長 秋葉 良二

一学年学年委員長の秋葉です。

昨今のコロナ禍により様々な変化への対応を求められながらも、ようやく高校生活をスタートする事ができ、皆様も安堵していることと思います。これからは変化への対応がより必要となる時代、今回の対応は子ども達にとって良い経験になったと感じております。

一年生代表生徒 菅井 真生

コロナのせいで、楽しんでいたことのほとんどが中止になったり、延期になってしまった。最初の登校日は、夏休みや冬休みにするような課題の連絡だったたりした。

一日も早く、コロナウイルスが世界中から消えてほしいと思います。

学級日誌から

1年〇組
7月の水曜日 くもり

《生徒感想》

テストが返ってくるようになりました。高校に入って初めてのテストで、良い点数、よくない点数様々ですが、間違えをそのままにしないで、しっかり復習するようにしたいと思いました。

《担任より》

「次に生かす」「改善」という点で、「そのままにしない」というのは大切なので、その意気素晴らしい!

《コメント》

PDCAサイクルのスパイラルアップですね! 3年間頑張りましょう!

2年〇組
5月25日 晴れ

《生徒感想》

いつも通りの6時間授業の学校に戻ってきたが、相も変わらず皆、いつも通り元気がよかった。少しずつ前のような日常に戻ってくれば良いのと思った。

《担任より》

今日もみんな元気が何よりです。早くいつも通りに戻るといいですね。

《コメント》

いつも通りがどれだけよかったことなのか、今更ながら実感します。

3年〇組
7月の金曜日 くもり

《生徒感想》

なんとなんと明日から休み、まあ休みといっても宿題まみれなんですよ。この夏、私はいくつの作文を書けばよいのでしょうか、困りましたね。一応最後の日なので、何か残したいですね。何ししましょう。考えていたらスペースがなくなってきました。では、みなさん

《担任より》

みなさん書いてないよー
休みといっても、3年生には大切な時間です。やるべきことをしっかりやって、休み明けは元気に登校してください。

《コメント》

3年生は、進路決定に向けてみんながんばろー

本校の防災について

「令和二年七月豪雨」と気象庁が命名した九州地方を中心とした大雨がありました。七月下旬には山形県内で、記録的な大雨で最上川が氾濫し、約七〇〇棟が浸水しましたが、全国で相次ぐ豪雨災害を教訓に迅速な避難行動により住民の命が守られました。

学校でも生徒の命と学校生活を送るために、本校では学校運営計画で定める「生徒の防災意識の喚起及び安全対策の一層の強化」に基づき、設備点検や緊急メール配信、防災用品の備蓄などを行っています。

中でも特に防災意識を喚起する避難訓練は、例年春と秋の二回実施しております。今回は新型コロナウイルスの関係で、前期は一年生対象とした、避難経路の確認を中心とした訓練を実施しました。

後期の避難訓練は全校で実施できることを願い、命を意欲する防災に、学校全体で取り組みます。



部活動紹介【運動部編】

卓球部

私達、卓球部は全員シングル県大会進出を目標に日々練習を頑張っています。活動日は水曜日を除いた平日四日と土曜日休日一日、計週五日活動しています。三年生の先輩方が引退しましたが、男子十四人、女子六人で、二年生と一年生互いに手を取り合いながら皆が目標に向かい日々精進しています。

サッカー部

私達のサッカー部は、部員の人数が少なく、二年生が主軸となつて後輩たちを引っ張っていきけるように頑張っています。練習メニューは人数が少ないため、できる範囲が限られています。ですが一つ一つのメニューを一生懸命になつて取り組んでいます。これからも継続して頑張っていきたいです。



男子ハンドボール部

我々ハンド部は、二年生七人と少ない人数で限られた時間の中、顧問の先生の指導のもと日々練習に励んでいます。

女子ハンドボール部

私達女子ハンドボール部は三年生一人、二年生一人、一年生三人という人数の少ない中、週四日活動しています。人数が少なく男子と合同練習になることも多いですが、みんな楽しく分らないことは先輩に聞くなどして充実した活動ができています。全員が体を動かすことが好きで明るく元気な人が多い楽しい部活です。

男子バスケットボール部

我々、バスケットボール部は、二年生六人、一年生三人マネージャー四人で活動しております。部活動において大切にしたことは、勝ち負け以上の大切さを学ぶことです。

剣道部

バスケットをできることをあたり前と思わず、できる事に感謝し、与えられた時間を無駄にせず、日々の練習を行っていきたいと思っています。



自転車競技部

今年、インターハイ、国体ともに中止が決定し、大きな脱力感と悲しさ、寂しさがつのります。国体出場を目指して



山岳部

私は悔いの残る引退となりました。しかし、一・二年生はこれから新人戦を控えており、三月の全国選抜大会の選考に直結する大切な大会があるので、頑張つてほしいと思います。



テニス部

コロナウィルスの影響で、テニス部は約三カ月間、部活動が出来ませんでした。また、予定されていた地区大会、県大会も中止となりました。そ

女子バレーボール部

こで、顧問の先生と話し合い、部内戦を実施し、三年生の引退試合としました。部員の動きは少し鈍っていましたが、特に三年生はこれまでの部活動を思い出し、テニスのプレーを楽しんでいました。

野球部

私達女子バレー部は、三年生一人、二年生三人、一年生二人で活動しています。現在、週二日という少ない時間の中で、自分たちが今できることをよく考えて練習しています。今後の目標は、部員同士の仲を深めていき、それぞれの個人レベルを高め、楽しくバレーボールをすることです。

今年度は部員二十名で活動しています。コロナウィルスの影響により各大会が中止となり、辛い状況となりましたが、山形県高校野球大会二〇二〇が開催されることになり、新たな目標に向かって練習に取り組んでおります。できることを積み重ね、大会では上位進出を目指し、さらには人間として成長できるように努力しています。



公立病院の方々にとても好評でした。喜んでいただけて良かったです。

機械科課題研究の授業の中で、フェイスシールドの製作に取り組みました。このコロナ禍の中で、人の役に立つものづくりがしたいと集まった生徒達。寄贈先は、お世話になっている学校の先生方次に地元の大さな病院である北村山公立病院様に決定。気温が三五℃に迫る中、寄贈して参りました。感謝の言葉を頂いた生徒達は、一回り大きく成長したように見えました。この経験を活かし社会に貢献できる人になって下さい。

三年三組 奥山 直哉

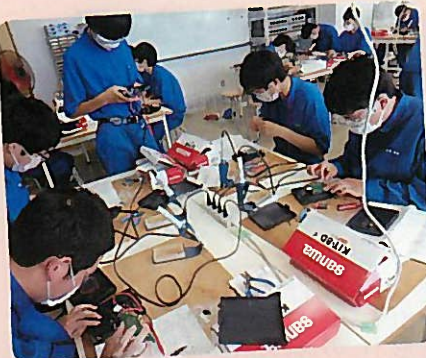


農業環境科では、毎年2年生を対象に造園基礎という授業で、株式会社ユニマツトリックの方を講師として、エクステリアとCADを用いたデザイン制作などについて学習をしています。そこで身につけた知識と技術を発揮すべく、ガーデン&エクステリアデザインコンテストへ一人一作品を全員が出品をしています。どの作品も個性あふれるデザインで、今回の表彰式では、実行委員長より作品の完成度や独創性など高評価をいただきました。今回の入賞も大変素晴らしいことです。今後もコンテストの入賞と進路に結び付けられるようにしていきたいと思っています。

三年二組 松井 れいな

今回、ガーデン&エクステリアデザインコンテストの賞をいただき、とても嬉しかったです。

「楽しい空間」をテーマに透明テントやスタジオ小屋など楽しめるようなデザインを考えました。今回のことを自分の将来へ生かしていきたいと思っています。



村産ギャラリー



あとがき
子供たちがより良い学習環境に居れるよう、PTAと学校の「美しい調和」を願い学校の出来事を紹介しました。原稿を書いてくださった先生、生徒、広報制作を下さった方々に感謝いたします。



広報委員長 阿相 好和
平澤 正登 加賀 光大
佐藤 弘樹 高嶋 秀幸
板垣 英希 菅藤 幹男
伊藤 達也 笹原 健夫

PTA広報委員後期
第十三号のメンバー

